



CHAPTER

9

## ファイバ チャンネル show コマンド

---

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチに使用できる Cisco NX-OS ファイバ チャンネルおよびバーチャル ファイバ チャンネル show コマンドについて説明します。

# show cfs

Cisco Fabric Services (CFS) 情報を表示するには、**show cfs** コマンドを使用します。

```
show cfs {application [name app-name] | lock [name app-name [vsan vsan-id]] | merge
status [name app-name [vsan vsan-id]] | peers [name app-name [vsan vsan-id]] |
regions | status}
```

## シンタックスの説明

<b>application</b>	ローカルに登録されたアプリケーションを表示します。
<b>name</b> <i>app-name</i>	(任意) ローカルアプリケーション情報を名前指定します。最大 64 文字まで可能です。
<b>lock</b>	アプリケーションの論理ロックまたは物理ロックの状態を表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) Virtual Storage Area Network (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>merge status</b>	CFS 結合情報を表示します。
<b>peers</b>	論理または物理 CFS ピアを表示します。
<b>regions</b>	CFS 領域を表示します。
<b>status</b>	CFS 配信がイネーブルかディセーブルかを表示します。イネーブルがデフォルト設定です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、すべてのアプリケーションの CFS 物理ピア情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs peers
```

次に、スイッチ上のすべてのアプリケーションの CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application
```



### (注)

**show cfs application** コマンドは、CFS で登録されたアプリケーションだけを表示します。CFS を使用する条件付きサービスは、そのサービスが実行されていない限り出力には表示されません。

次に、デバイスエイリアスアプリケーションの CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application name device-alias
```

次に、デバイスエイリアスアプリケーションの CFS 結合操作情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs merge status device-alias
```

次に、CFS 配信がイネーブルかどうかを表示する例を示します。

```
switch# show cfs status
```

# show debug npv

スイッチに設定されている N Port Virtualization (NPV; N ポート バーチャライゼーション) デバッグ コマンドを表示するには、**show debug npv** コマンドを使用します。

## show debug npv

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードや引数はありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show debug npv** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

**例** スイッチに使用できるすべての NPV デバッグ コマンドを表示する例を示します。  

```
switch# show debug npv
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>debug npv</b>	NPV コンフィギュレーションのデバッグをイネーブルにします。

# show device-alias

デバイス名情報を表示するには、**show device-alias** コマンドを使用します。

**show device-alias** {**database** | **merge status** | **name** *device-name* [**pending**] | **pending** | **pending-diff** | **pwwn** *pwwn-id* [**pending**] | **session status** | **statistics** | **status**}

## シンタックスの説明

<b>database</b>	デバイス名データベース全体を表示します。
<b>merge status</b>	デバイス結合ステータスを表示します。
<b>name</b> <i>device-name</i>	特定のデバイス名のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pending</b>	未決定のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pending-diff</b>	デバイス名データベース情報の未決定の差異を表示します。
<b>pwwn</b> <i>pwwn-id</i>	特定の pWWN のデバイス名データベース情報を表示します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数です。
<b>session status</b>	デバイス名セッションステータスを表示します。
<b>statistics</b>	デバイス名データベースの統計情報を表示します。
<b>status</b>	デバイス名データベースのステータスを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

デバイス名として、暗号デバイス名の代わりに FC エイリアスを使用するには、各 FC エイリアスにメンバーを 1 つだけ追加します。

## 例

次に、デバイス エイリアス データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show device-alias database
```

次に、すべてのグローバル FC エイリアスおよびすべての VSAN 従属 FC エイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show device-alias name efg
```

次に、すべてのグローバル FC エイリアスおよびすべての VSAN 従属 FC エイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show device-alias statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>device-alias name</b>	デバイスエイリアス名を設定します。
<b>device-alias database</b>	デバイスエイリアス情報を設定します。
<b>device-alias distribute</b>	デバイスエイリアス Cisco Fabric Services (CFS) 配信をイネーブルにします。

# show fabric-binding

設定されているファブリック バインディング情報を表示するには、**show fabric-binding** コマンドを使用します。

```
show fabric-binding {database [active] [vsan vsan-id] | efmd statistics [vsan vsan-id] |
statistics [vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last number]}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	設定されたデータベース情報を表示します。
<b>active</b>	(任意) アクティブ データベース コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) FICON 対応 VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>efmd statistics</b>	Exchange Fabric Membership Data (EFMD) 統計情報を表示します。
<b>statistics</b>	ファブリック バインディング統計情報を表示します。
<b>status</b>	ファブリック バインディング ステータスを表示します。
<b>violations</b>	ファブリック バインディング コンフィギュレーションにおける違反を表示します。
<b>last number</b>	(任意) 最新の違反を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 100 です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、設定されているファブリック バインディング データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database
```

次に、アクティブ ファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active
```

次に、アクティブな VSAN 固有ファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active vsan 61
```

次に、設定されている VSAN 固有のファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database vsan 4
```

次に、ファブリック バインディングの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding statistics
```

次に、各 VSAN のファブリック バインディング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding status
```

次に、EFMD の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics
```

次に、指定 VSAN の EFMD 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics vsan 4
```

次に、ファブリック バインディング違反を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding violations
```



# show fc2

FC2 情報を表示するには、**show fc2** コマンドを使用します。

```
show fc2 {bind | classf | exchange | exchresp | flogi | nport | plogi | plogi_pwwn | port
[brief] | socket | sockexch | socknotify | socknport | vsan}
```

## シンタックスの説明

<b>bind</b>	FC2 ソケット バインディングを表示します。
<b>classf</b>	FC2 classf セッションを表示します。
<b>exchange</b>	FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>exchresp</b>	FC2 アクティブ応答交換を表示します。
<b>flogi</b>	FC2 Fabric Login (FLOGI) テーブルを表示します。
<b>nport</b>	FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>plogi</b>	FC2 Port Login (PLOGI) セッションを表示します。
<b>plogi_pwwn</b>	FC2 PLOGI pWWN エントリを表示します。
<b>port</b>	FC2 物理ポート テーブルを表示します。
<b>brief</b>	FC2 物理ポート テーブルを要約形式で表示します。
<b>socket</b>	FC2 アクティブ ソケットを表示します。
<b>sockexch</b>	各ソケットの FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>socknotify</b>	各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI/LOGO 通知を表示します。
<b>socknport</b>	ソケットごとの FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>vsan</b>	FC2 VSAN テーブルを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、FC2 アクティブ ソケット情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socket
```

次に、FC2 ソケット バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 bind
```

次に、FC2 ローカル N ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 nport
```

次に、FC2 PLOGI セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 plogi
```

次に、FC2 物理ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 port
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI 通知を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknotify
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポートを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknport
```

次に、FC2 VSAN テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 vsan
```

# show fcalias

ファイバチャネルエイリアス (fcalias) のメンバー名情報を表示するには、**show fcalias** コマンドを使用します。

```
show fcalias [name fcalias-name] [pending] [vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>name</b> <i>fcalias-name</i>	(任意) 特定の名前の fcalias 情報を表示します。最大 64 文字まで可能です。
<b>pending</b>	(任意) 未決定の fcalias 情報を表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN の fcalias 情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## コマンドのデフォルト

すべてのグローバル fcalias のリスト、およびすべての VSAN 従属 fcalias のリストを表示します。

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

デバイス名として、暗号デバイス名の代わりに FC エイリアスを使用するには、各 FC エイリアスにメンバーを 1 つだけ追加します。

## 例

次に、fcalias の設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcalias vsan 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcalias name</b>	FC エイリアス名を設定します。

# show fcdomain

ファイバチャネルドメイン (fcdomain) 情報を表示するには、**show fcdomain** コマンドを使用します。

```
show fcdomain [address-allocation [cache] | allowed | domain-list | fcid persistent
[unused] | pending [vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] | session-status [vsan
vsan-id] | statistics [interface {fc slot/port [vsan vsan-id] } | san-port-channel port
[vsan vsan-id]] | status | vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>address-allocation</b>	(任意) Fibre Channel (FC) ID 割り当ての統計情報を表示します。
<b>cache</b>	(任意) 主要スイッチのファブリックを出て再入するデバイス (ディスクまたはホスト) に対して、FC ID を再割り当てします。キャッシュ内では、VSAN はこのデバイスを含む VSAN を、WWN は FC ID を所有していたデバイスを、マスクは FC ID に対応する 1 つのエリアまたはエリア全体を表します。
<b>allowed</b>	(任意) 許可されたドメイン ID のリストが表示されます。
<b>domain-list</b>	(任意) 主要なスイッチが提供するドメイン ID のリストを表示します。
<b>fcid persistent</b>	(任意) 固定 FC ID (再起動後も変わらない ID) を表示します。
<b>pending</b>	(任意) 未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session-status</b>	(任意) FC ドメインの最後の動作を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>statistics</b>	(任意) FC ドメインの統計情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>san-port-channel port</b>	(任意) SAN ポートチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>status</b>	(任意) FC ドメインのすべての VSAN 独立型情報を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

引数を指定せずに **show fcdomain** を入力すると、すべての VSAN が表示されます。VSAN をアクティブにする必要があります。アクティブでないとエラーになります。

## 例

次に、VSAN 1 の FC ドメイン情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain vsan 1
```

次に、VSAN 76 の FC ドメイン ドメイン リスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain domain-list vsan 76
```

```
Number of domains: 3
Domain ID          WWN
-----
0xc8(200)         20:01:00:05:30:00:47:df [Principal]
0x63(99)          20:01:00:0d:ec:08:60:c1 [Local]
0x61(97)          50:00:53:0f:ff:f0:10:06 [Virtual (IVR)]
```

表 9-1 に、**show fcdomain domain-list** コマンドの出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 9-1 show fcdomain のフィールドの説明

フィールド	説明
Domain ID	WWN に対応するドメイン ID の一覧です。
WWN	対応するドメイン ID を要求するスイッチ（物理スイッチまたは仮想スイッチ）の WWN を示します。
Principal	VSAN で主要なスイッチの WWN およびドメイン ID を表示する行を示します。
Local	ローカル スイッチ（ <b>show fcdomain domain-list</b> コマンドを入力したスイッチ）の WWN およびドメイン ID を表示する行を示します。
Virtual (IVR)	ドメイン ID を入手するために Inter-VSAN Routing (IVR) マネージャに使用されている仮想スイッチの WWN が表示されている行を示します

許可されたドメイン ID リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain allowed vsan 1
```

許可されたドメイン ID リストの CFS 配信ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain status
```

未決定の設定変更を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending vsan 10
```

未決定コンフィギュレーションと現行のコンフィギュレーションの差異を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending-diff vsan 10
```

配信セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain session-status vsan 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcdomain</b>	ファイバチャネル ドメイン機能を設定します。

# show fcdroplacency

設定されているファイバチャネル遅延パラメータを表示するには、**show fcdroplacency** コマンドを使用します。

**show fcdroplacency [network | switch]**

## シンタックスの説明

<b>network</b>	(任意) ミリ秒単位のネットワーク遅延
<b>switch</b>	(任意) ミリ秒単位のスイッチ遅延

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、設定されているファイバチャネル遅延パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show fcdroplacency
```

# show fcflow stats

設定されているファイバチャネルフロー（fcflow）情報を表示するには、**show fcflow stats** コマンドを使用します。

```
show fcflow stats [aggregated | usage] [index flow-index]
```

## シンタックスの説明

<b>aggregated</b>	(任意) 集約 fcflow 統計情報を表示します。
<b>usage</b>	(任意) フローインデックスの使用状況を表示します。
<b>index flow-index</b>	(任意) fcflow インデックスを指定します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、集約 fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats aggregated
```

次に、fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats
```

次に、fcflow インデックスの使用状況を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats usage
```

# show fcid-allocation

会社 ID のファイバチャネル地域リストを表示するには、**show fcid allocation** コマンドを使用します。

**show fcid-allocation area | company-id-from-wwn wwn [company-id]**

## シンタックスの説明

<b>area</b>	会社 ID の自動地域リストを選択します。
<b>company-id-from-wwn wwn</b>	指定 World Wide Name (WWN) から会社 ID を選択します。
<b>company-id</b>	(任意) 表示する個々の会社 ID (Organizational Unit Identifier (OUI)) を選択します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、会社 ID のファイバチャネル地域会社リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcid-allocation area
Fcid area allocation company id info:
```

```
00:50:2E
00:50:8B
00:60:B0
00:A0:B8
00:E0:69
00:E0:8B
00:32:23 +
```

```
Total company ids: 7
+ - Additional user configured company ids.
* - Explicitly deleted company ids from default list.
```

表 9-2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 9-2 show fcid-allocation area company のフィールドの説明

フィールド	説明
+	デフォルトのリストに追加された会社 ID を示します。
-	デフォルトのリストから削除された会社 ID を示します。



# show fcns database

検出結果の表示、あるいは指定 VSAN またはすべての VSAN のネーム サーバ データベースの表示を行うには、**show fcns database** コマンドを使用します。

```
show fcns database {detail [vsan vsan-id] | domain domain-id [detail] [vsan vsan-range]
| fcid fcid-id [detail] vsan vsan-range | local [detail] [vsan vsan-range] | vsan vsan-id}
```

## シンタックスの説明

<b>detail</b>	各エントリ内の全オブジェクトを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定 VSAN ID のエントリを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>domain domain-id</b>	ドメインのエントリを表示します。
<b>detail</b>	(任意) ドメインの詳細なエントリを表示します。
<b>fcid fcid-id</b>	指定したポートのエントリを表示します。
<b>local</b>	ローカル エントリを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

特にファブリックが大規模な場合や複数のデバイスの応答が遅い場合に、検出が完了するのに数分かかる場合があります。

仮想エンクロージャ ポートは、**show fcns database** コマンドを使用して表示できます。

## 例

次に、Fibre Channel Name Server (FCNS; ファイバチャネル ネーム サーバ) データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

次に、FCNS データベースの詳細内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database detail
```

次に、管理 VSAN (VSAN2) を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database vsan 2
```

次に、設定されているすべての VSAN のデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcns</b>	ネームサーバコンフィギュレーション用のコンフィギュレーションモードコマンド

# show fcns statistics

指定 VSAN またはすべての VSAN の統計情報を表示するには、**show fcns statistics** コマンドを使用します。

```
show fcns statistics [detail] [vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>detail</b>	(任意) 詳細統計情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定の VSAN ID の統計情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、指定 VSAN の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcns statistics
```

# show fcoe

スイッチ上の Fibre Channel over Ethernet (FCoE) のステータスを表示するには、**show fcoe** コマンドを使用します。

## show fcoe

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードや引数はありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、FCoE のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcoe
```

# show fcroute

ファイバチャネルおよび FSPF の既存の設定についての情報を表示するには、**show fcroute** コマンドを使用します。

```
show fcroute {distance | label [label] vsan vsan-id | multicast [fc-id vsan vsan-id | vsan
vsan-id] | summary [vsan vsan-id] | unicast [[host] fc-id fc-mask vsan vsan-id | vsan
vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>distance</b>	FC ルート優先順位を表示します。
<b>label</b>	ラベル ルートを表示します。
<i>label</i>	(任意) 指定ラベルのラベル ルートを表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN ID を指定します (1 ~ 4093)。
<b>multicast</b>	FC マルチキャスト ルートを表示します。
<i>fc-id</i>	(任意) ファイバチャネル ID を指定します。
<b>summary</b>	FC ルート概要を表示します。
<b>unicast</b>	FC ユニキャスト ルートを表示します。
<i>host</i>	(任意) 指定ホストのユニキャスト ルートを表示します。
<i>fc-mask</i>	マスクで指定された FC ID と一致するホストのユニキャスト ルートを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

コマンド出力でルート数が表示される際、合計ルート数には表示ルートと非表示ルートの両方が含まれています。

## 例

次に、管理距離を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute distance
```

次に、マルチキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast
```

次に、指定 VSAN の FCID 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast vsan 3
```

次に、指定 VSAN の FCID およびインターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast 0xffffffff vsan 2
```

次に、ユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast
```

次に、指定 VSAN のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast vsan 4
```

次に、指定 FCID のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast 0x040101 0xffffffff vsan 4
```

次に、ルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary
```

次に、指定 VSAN のルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary vsan 4
```

# show fcs

ファブリック設定のステータスを表示するには、**show fcs** コマンドを使用します。

```
show fcs {database [vsan vsan-id] | ie [nwwn wwn] vsan vsan-id | platform [name string]
vsan vsan-id | port [pwwn wwn] vsan vsan-id | statistics vsan vsan-id | vsan}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	Fabric Configuration Server (FCS) のローカル データベースを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>ie</b>	相互接続要素オブジェクト情報を表示します。
<b>nwwn wwn</b>	(任意) ノード WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>platform</b>	プラットフォーム オブジェクト情報を表示します。
<b>name string</b>	(任意) プラットフォーム名を指定します。最大 255 文字まで可能です。
<b>port</b>	ポート オブジェクト情報を表示します。
<b>pwwn wwn</b>	(任意) ポート WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>statistics</b>	FCS パケットの統計情報を表示します。
<b>vsan</b>	すべての VSAN のリストを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、FCS データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs database
```

次に、特定の VSAN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie vsan 1
```

次のコマンドでは、特定の WWN の相互接続要素オブジェクト情報が表示されます。

```
switch# show fcs ie nwwn 20:01:00:05:30:00:16:df vsan 1
```

次のコマンドでは、プラットフォーム情報が表示されます。

```
switch# show fcs platform name SamplePlatform vsan 1
```

次のコマンドでは、指定 VSAN 内のプラットフォーム情報が表示されます。

```
switch# show fcs platform vsan 1
```

次のコマンドでは、指定 VSAN 内の FCS ポート情報が表示されます。

```
switch# show fcs port vsan 24
```

次のコマンドでは、指定 WWN 内のポートが表示されます。

```
switch# show fcs port pwwn 20:51:00:05:30:00:16:de vsan 24
```

次のコマンドでは、FCS の統計情報が表示されます。

```
switch# show fcs statistics
```



# show fcsp

Fibre Channel Security Protocol (FC-SP; ファイバチャネルセキュリティプロトコル) コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show fcsp** コマンドを使用します。

```
show fcsp [asciiwnn ascii-wnn | dhchap [database] | interface {fc slot/port | vfc vfc-id}
[statistics | wnn]]
```

## シンタックスの説明

<b>asciiwnn</b> <i>ascii-wnn</i>	(任意) Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントティング) サーバで使用される World Wide Name (WWN) の ASCII 表記を表示します。
<b>dhchap</b>	(任意) Diffie-Hellman Challenge Handshake Authentication Protocol (DHCHAP) ハッシュ アルゴリズムのステータスを表示します。
<b>database</b>	(任意) ローカル DHCHAP データベースの内容を表示します。
<b>interface</b>	(任意) ファイバチャネルまたはファイバチャネルインターフェイスの FC-SP 設定を表示します。
<b>fc slot/port</b>	ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>vfc vfc-id</b>	(任意) バーチャルファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>statistics</b>	(任意) 指定インターフェイスの統計情報を表示します。
<b>wnn</b>	(任意) 他のデバイスの FC-SP ID を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、FC インターフェイスの DHCHAP コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3
```

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 統計を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3 statistics
```

次に、指定のインターフェイスを介して接続されているデバイスの FC-SP WWN を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc 2/1 wnn
```

次に、ローカルスイッチに設定されているハッシュ アルゴリズムおよび DHCHAP グループを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap
```

## ■ show fcsp

次に、DHCHAP ローカル パスワード データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap database
```

次に、デバイス WWN の ASCII 表記を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp asciiwnn 30:11:bb:cc:dd:33:11:22
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fcsp enable</b>	このスイッチの FC-SP 機能をイネーブルにします。

# show fctimer

ファイバチャネル タイマー (fctimer) を表示するには、**show fctimer** コマンドを使用します。

```
show fctimer [d_s_tov [vsan vsan-id] | e_d_tov [vsan vsan-id] | f_s_tov [vsan vsan-id] |
r_a_tov [vsan vsan-id] | last action status | pending | pending-diff | session status |
status | vsan vsan-id]
```

## シンタックスの説明

<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>d_s_tov</b>	(任意) 分散サービスのタイムアウト値 (D_S_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>e_d_tov</b>	(任意) エラー検出のタイムアウト値 (E_D_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>f_s_tov</b>	(任意) ファブリック安定のタイムアウト値 (F_S_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>r_a_tov</b>	(任意) リソース割り当てのタイムアウト値 (R_A_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>last action status</b>	(任意) 最後の CFS 確定または廃棄操作の状態を表示します。
<b>pending</b>	(任意) 未決定 fctimer コマンドのステータスを表示します。
<b>pending-diff</b>	(任意) 未決定データベースと実行コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session status</b>	(任意) fctimer CFS セッションの状態を表示します。
<b>status</b>	(任意) ファイバチャネル タイマーの状態を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、設定されているグローバル Time Out Value (TOV) を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer
```

次に、指定 VSAN の設定済み TOV を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer vsan 10
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fctimer</b>	fctimer パラメータを設定します。

# show fdmi

Fabric-Device Management Interface (FDMI) データベースの情報を表示するには、**show fdmi** コマンドを使用します。

```
show fdmi database [detail [hba-id {hba-id vsan vsan-id} | vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
suppress-updates
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<b>database</b>	FDMI データベース コンテンツを表示します。
	<b>detail</b>	(任意) 詳細な FDMI 情報を指定します。
	<b>hba-id</b> <i>hba-id</i>	(任意) 指定の HBA エントリの詳細情報を表示します。
	<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) 特定の VSAN の FDMI 情報を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
	<b>suppress-updates</b>	アップデートを停止するように設定されている VSAN を表示します。

コマンドのデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例**

次に、すべての HBA 管理サーバを表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database
```

次に、VSAN1 固有の FDMI 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail vsan 1
```

次に、指定の HBA エントリの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail Hba-id 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54 vsan 1
```

# show flogi

全 VSAN のすべてのインターフェイスを介するすべての Fabric Login (FLOGI) セッションのリストを表示するには、**show flogi** コマンドを使用します。

```
show flogi {auto-area-list} | database {fcid fcid-id | interface {fc slot/port | vfc vfc-id} | vsan vsan-id}
```

## シンタックスの説明

<b>auto-area-list</b>	割り当て領域である Organizational Unit Identifier (OUI) のリストを表示します。
<b>database</b>	FLOGI セッションに関する情報を表示します。
<b>fcid fcid-id</b>	割り当てられた Fibre Channel (FC) ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。フォーマットは <i>0xhhhhh</i> です。
<b>interface</b>	ログインしたインターフェイスに基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。
<b>fc slot/port</b>	ファイバチャネル インターフェイスまたはバーチャルファイバチャネル インターフェイスをスロットおよびポート番号で指定します。
<b>vfc vfc-id</b>	バーチャルファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドの出力はインターフェイス番号別、および VSAN ID 別に保存されます。

FC ファブリックでは、各ホストまたはディスクに FCID が必要です。以下の例にあるように、Fabric Login (FLOGI) テーブルにストレージ デバイスが表示されているかどうかを確認するには、**show flogi database** コマンドを使用します。必要なデバイスが FLOGI テーブルに表示されていれば、FLOGI が正常に行われます。ホスト Host Bus Adapter (HBA) および接続ポートに直接接続されているスイッチ上の FLOGI データベースを検査します。

## 例

次に、FLOGI データベースの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database
```

次に、FLOGI インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show flogi database interface fc 2/3
```

## ■ show flogi

次に、FLOGI VSAN を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database vsan 1
```

次に、特定の FCID の FLOGI を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database fcid 0xef02e2
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show fcns database</b>	すべてのローカルおよびリモート ネーム サーバ エントリを表示します。

# show fspf

グローバル Fibre Shortest Path First (FSPF) ルーティング情報を表示するには、**show fspf** コマンドを使用します。

```
show fspf [database [vsan vsan-id] [detail | domain domain-id detail] | interface | vsan
vsan-id interface {fc slot/port | san-port-channel port-channel}]
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	(任意) FSPF リンク ステート データベースを表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な FSPF 情報を表示します。
<b>domain</b> <i>domain-id</i>	(任意) データベースのドメインを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
<b>interface</b>	(任意) FSPF インターフェイスを指定します。
<b>fc</b> <i>slot/port</i>	設定するファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>san-port-channel</b> <i>port-channel</i>	ポートチャネルインターフェイスを指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

パラメータを指定せずに、このコマンドを入力すると、データベース内のすべてのエントリが表示されます。

## 例

次に、FSPF インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf interface vsan 1 fc2/1
```

次に、FSPF データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf database vsan 1
```

次のコマンドでは、指定 VSAN の FSPF 情報が表示されます。

```
switch# show fspf vsan 1
```

# show in-order-guarantee

順次配信機能の現在の設定ステータスを表示するには、**show in-order-guarantee** コマンドを使用します。

## show in-order-guarantee

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例** 順次配信機能の現在の設定ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show in-order-guarantee
```



# show loadbalancing

特定のユニキャストフローのロードバランシングステータスを表示するには、**show loadbalancing** コマンドを使用します。

**show loadbalancing vsan vsan-id source-fcid dest-fcid [exchange-id]**

## シンタックスの説明

<b>vsan vsan-id</b>	割り当てられた Fibre Channel (FC) ID に基づいて FLOGI データベースエントリを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>source-fcid</b>	指定の発信元 FCID のロードバランシングステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>dest-fcid</b>	指定の宛先 FCID のロードバランシングステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>exchange-id</b>	(任意) 指定の交換のロードバランシングステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、VSAN 3 の指定の発信元および宛先のロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show loadbalancing vsan 3 0x3345 0x2546
```

# show npv flogi-table

N ポート バーチャライゼーション (NPV) FLOGI セッションに関する情報を表示するには、**show npv flogi-table** コマンドを使用します。

## show npv flogi-table

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードや引数はありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show npv flogi-table** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

**例** 次に、NPV FLOGI セッションの情報を表示する例を示します。

```
switch# show npv flogi-table
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show npv status</b>	NPV の現在のステータスを表示します。

# show npv status

N ポート バーチャライゼーション (NPV) の現行のステータスを表示するには、**show npv status** コマンドを使用します。

## show npv status

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードや引数はありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show npv status** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

**例** 次に、NPV の現行のステータスを表示する例を示します。  
switch# **show npv status**

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show npv flogi-table</b>	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

# show npv traffic-map

N ポート バーチャライゼーション (NPV) トラフィック マップを表示するには、**show npv traffic-map** コマンドを使用します。

## show npv traffic-map

**シンタックスの説明** このコマンドには、キーワードや引数はありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** **show npv traffic-map** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

**例** 次に、NPV の現行のステータスを表示する例を示します。  

```
switch# show npv traffic-map
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show npv flogi-table</b>	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

# show port index-allocation

ポートインデックス割り当て情報を表示するには、**show port index-allocation** コマンドを使用します。

**show port index-allocation [startup]**

シンタックスの説明	<b>startup</b>	(任意) 始動時のポートインデックス割り当て情報を表示します。
-----------	----------------	---------------------------------

コマンドのデフォルト	なし
------------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。



(注)

ポートインデックスの最大数が 256 のスイッチでは、この制限を超えるモジュールの電源は投入されません。Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、始動時のモジュールインデックス配信はありません。

例	次に、ポートインデックス割り当て情報を表示する例を示します。
---	--------------------------------

```
switch# show port index-allocation
```

# show port-security

設定されているポートセキュリティ機能に関する情報を表示するには、**show port-security** コマンドを使用します。

```
show port-security {database [active [vsan vsan-id]] | fwwn fwwn-id vsan vsan-id |
interface {fc slot/port | san-port-channel port} vsan vsan-id | vsan vsan-id | pending
[vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] | session status [vsan vsan-id] | statistics
[vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last count | vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>database</b>	データベース関連のポートセキュリティ情報を表示します。
<b>active</b>	(任意) アクティブ化されたデータベース設定情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定データベースの情報を表示します。
<b>fwwn fwwn-id</b>	特定ファブリック World Wide Name (WWN) の情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスの情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したファイバチャネルインターフェイスの情報を表示します。
<b>san-port-channel port</b>	SAN ポートチャネルインターフェイスの情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 128 です。
<b>pending</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションとアクティブコンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session status</b>	VSAN 単位でポートセキュリティステータスを表示します。
<b>statistics</b>	ポートセキュリティ統計を表示します。
<b>status</b>	VSAN 単位でポートセキュリティステータスを表示します。
<b>violations</b>	ポートセキュリティデータベースでの違反を表示します。
<b>last count</b>	(任意) データベースの末尾の指定行数を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 100 です。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

各ポートのアクセス情報は個別に表示されます。ファブリック WWN (fWWN) またはインターフェイス オプションを指定する場合、(その時点の) アクティブデータベースでペアとなっているすべてのデバイスが、指定した fWWN またはインターフェイスとともに表示されます。

**last number** オプションを指定して **show port-security** コマンドを入力すると、最初に示される指定エントリ数だけが表示されます。

**例**

次に、ポートセキュリティ データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database
```

次に、VSAN 1 のアクティブ ポート セキュリティ データベースの出力を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database vsan 1
```

次に、アクティブ データベースを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database active
```

次に、VSAN 1 内のワイルドカード fWWN ポート セキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database fwwn 20:85:00:44:22:00:4a:9e vsan 1
```

次に、VSAN 1 内の設定済み fWWN ポート セキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show port-security database fwwn 20:01:00:05:30:00:95:de vsan 1
```

次に、VSAN 2 内のインターフェイス ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-security database interface fc 2/1 vsan 2
```

次に、ポートセキュリティの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-security statistics
```

次に、アクティブ データベースと自動学習コンフィギュレーションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show port-security status
```

次に、直前に発生した 100 回の違反を表示する例を示します。

```
switch# show port-security violations
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>port-security</code>	ポートセキュリティ パラメータを設定します。

# show rlr

Registered Link Incident Report (RLIR) 情報を表示するには、**show rlr** コマンドを使用します。

```
show rlr {erl [vsan vsan-id] | history | recent {interface fc slot/port | portnumber port}
| statistics [vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>erl</b>	Established Registration List を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>history</b>	リンク インシデント履歴を表示します。
<b>recent</b>	最近のリンク インシデントを表示します。
<b>interface fc slot/port</b>	ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>portnumber port</b>	指定ポート番号の RLIR 情報を表示します。
<b>statistics</b>	すべての VSAN または指定 VSAN の RLIR 統計情報を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、VSAN 1 の RLIR 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlr erl vsan 1
```

次に、RLIR の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlr statistics vsan 1
```



# show rscn

Registered State Change Notification (RSCN) 情報を表示するには、**show rscn** コマンドを使用します。

```
show rscn {event-tov vsan vsan-id | pending vsan vsan-id | pending-diff vsan vsan-id |
scr-table [vsan vsan-id] | session status vsan vsan-id | statistics [vsan vsan-id]}
```

## シンタックスの説明

<b>event-tov</b>	イベント タイムアウト値を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>pending</b>	未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	アクティブ コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>scr-table</b>	State Change Registration (SCR) テーブルを表示します。
<b>session status</b>	RSCN セッション ステータスを表示します。
<b>statistics</b>	RSCN 統計情報を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

SCR テーブルを設定できません。このテーブルは、1 つまたは複数の N ポートが RSCN 情報の登録のために SCR フレームを送信した場合にだけデータが入力されます。**show rscn scr-table** コマンドがエントリを返さない場合、RSCN 情報を受信できる N ポートはありません。

## 例

次に、RSCN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn scr-table vsan 1
```

次に、RSCN 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn statistics vsan 1
```

次に、VSAN 1 に設定されている RSCN イベント タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show rscn event-tov vsan 1
```

次に、VSAN 1 のアクティブ RSCN コンフィギュレーションと未決定 RSCN コンフィギュレーションとの差異を表示する例を示します。

```
switch# show rscn pending-diff vsan 1
```

# show san-port-channel

既存の SAN ポート チャネル コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、**show san-port-channel** コマンドを使用します。

**show san-port-channel** {**compatibility-parameters** | **consistency** [**detail**] | **database** [**interface san-port-channel** *port*] | **summary** | **usage**}

シンタックスの説明	
<b>compatibility-parameters</b>	互換性パラメータを表示します。
<b>consistency</b>	すべてのモジュールのデータベース整合性情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なデータベース整合性情報を表示します。
<b>database</b>	SAN ポート チャネル データベースの情報を表示します。
<b>interface san-port-channel</b> <i>port</i>	(任意) SAN ポート チャネル番号を指定します。有効範囲は 1 ~ 256 です。
<b>summary</b>	SAN ポート チャネルの概要を表示します。
<b>usage</b>	SAN ポート チャネル 番号の使用状況を表示します。

コマンドのデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、SAN ポート チャネルの概要を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel summary
```

次に、SAN ポート チャネルの互換性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel compatibility-parameters
```

次に、SAN ポート チャネル データベースを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel database
```

次に、SAN ポート チャネル データベースの整合性状態を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency
```

次に、SAN ポート チャネル データベースの整合性状態についての詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency detail
```

**show san-port-channel usage** コマンドは、使用および未使用の SAN ポート チャネル番号の詳細を表示します。

```
switch# show san-port-channel usage
```

# show scsi-target

既存の SCSI ターゲット コンフィギュレーションについての情報を表示するには、**show scsi-target** コマンドを使用します。

```
show scsi-target {auto-poll | custom-list | devices [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | disk [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | lun [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] [os [aix | all | hpux | linux | solaris | windows] | pwwn | status | tape [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | vsan vsan-id}
```

## シンタックスの説明

<b>auto-poll</b>	SCSI ターゲット自動ポーリング情報を表示します。
<b>custom-list</b>	カスタマイズされた検出ターゲットを表示します。
<b>devices</b>	検出された SCSI ターゲット デバイス情報を表示します。
<b>vsan vsan-range</b>	(任意) VSAN ID または VSAN の範囲を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>fcid fcid-id</b>	(任意) 表示する SCSI ターゲットの FCID を指定します。
<b>disk</b>	検出されたディスク情報を表示します。
<b>lun</b>	検出された SCSI ターゲット Logical Unit Number (LUN) 情報を表示します。
<b>os</b>	(任意) 指定のオペレーティング システムを検出します。
<b>aix</b>	(任意) AIX オペレーティング システムを指定します。
<b>all</b>	(任意) すべてのオペレーティング システムを指定します。
<b>hpux</b>	(任意) HP-UX オペレーティング システムを指定します。
<b>linux</b>	(任意) Linux オペレーティング システムを指定します。
<b>solaris</b>	(任意) Solaris オペレーティング システムを指定します。
<b>windows</b>	(任意) Windows オペレーティング システムを指定します。
<b>pwwn</b>	各オペレーティング システムの検出された pWWN 情報を表示します。
<b>status</b>	SCSI ターゲット検出ステータスを表示します。
<b>tape</b>	検出されたテープ情報を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

オンライン SCSI ターゲットの自動検出を確認するには、**show scsi-target auto-poll** コマンドを使用します。

---

**例**

次に、SCSI 検出のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target status
```

次に、カスタマイズされた検出ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target custom-list
```

次に、検出されたディスク情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target disk
```

次に、すべてのオペレーティングシステムで検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os all
```

次に、Solaris オペレーティングシステムで検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os solaris
```

次に、自動ポーリング情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target auto-poll
```

次に、各オペレーティングシステム（Windows、AIX、Solaris、Linux、または HP-UX）に割り当てられたポート WWN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target pwwn
```

# show topology

接続されている SAN スイッチのトポロジ情報を表示するには、**show topology** コマンドを使用します。

**show topology [vsan vsan-id]**

シンタックスの説明	<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN の情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
コマンドのデフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC モード	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
例	次に、トポロジ情報を表示する例を示します。 switch# <b>show topology</b>	

# show trunk protocol

トランク プロトコル ステータスを表示するには、**show trunk protocol** コマンドを使用します。

## show trunk protocol

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**コマンドのデフォルト** なし

**コマンド モード** EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例** トランク プロトコル ステータスを表示する例を示します。  
switch# **show trunk protocol**

# show vsan

設定されている VSAN に関する情報を表示するには、**show vsan** コマンドを使用します。

```
show vsan [vsan-id [membership] | membership [interface {fc slot/port |
san-port-channel port | vfc vfc-id}] | usage]
```

## シンタックスの説明

<i>vsan-id</i>	(任意) 指定の VSAN ID についての情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<i>membership</i>	(任意) メンバシップ情報を表示します。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス タイプを指定します。
<i>fc slot/port</i>	(任意) ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<i>san-port-channel port</i>	(任意) SAN ポート チャネル番号で SAN ポート チャネル インターフェイスを指定します。
<i>vfc vfc-id</i>	(任意) バーチャル ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<i>usage</i>	(任意) システムでの VSAN の使用状況を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**show vsan membership interface** コマンドを入力すると、この SAN に設定されているインターフェイスに関するインターフェイス情報が表示されます。

インターフェイスの範囲は昇順で、オーバーラップなしです。ハイフンを使用して範囲を指定することも、コンマを使用して複数のインターフェイスを指定することもできます。

- ファイバチャネル インターフェイスのインターフェイス範囲は、次の形式で指定します。  
fcslot/port - port , fcslot/port , fcslot/port

例: `show int fc2/1 - 3 , fc2/4 , fc3/2`

## 例

次に、設定されている VSAN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan 1
```

次に、すべての VSAN のメンバシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership
```

次に、指定インターフェイスのメンバシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership interface fc1/1
```



# show wwn

WWN コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show wwn** コマンドを使用します。

```
show wwn {status [block-id number] | switch | vsan-wwn}
```

シンタックスの説明	status	WWN 使用状況とアラーム ステータスの要約を表示します。
	<b>block-id number</b>	(任意) 特定のブロック ID の WWN 使用状況およびアラーム ステータスを表示します。有効範囲は 34 ~ 1793 です。
	<b>switch</b>	スイッチ WWN を表示します。
	<b>vsan-wwn</b>	すべてのユーザ設定 VSAN WWN を表示します。

コマンドのデフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、スイッチの WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn switch
```

次に、ユーザ設定 VSAN WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn vsan-wwn
```

# show zone

ゾーン情報を表示するには、**show zone** コマンドを使用します。

```
show zone [active [vsan vsan-id] | analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset
zoneset-name} | ess [vsan vsan-id] | member {fcalias alias-name | fcid fcid-id [active |
lun lun-id | vsan vsan-id] | pwwn wwn [active | lun lun-id | vsan vsan-id]} | name string
[active] [pending] [vsan vsan-id] | pending [active] [vsan vsan-id] | pending-diff
[vsan vsan-id] | policy [pending] [vsan vsan-id] | statistics [vsan vsan-id] | status [vsan
vsan-id]]
```

## シンタックスの説明

<b>active</b>	(任意) アクティブ ゾーンセットの一部であるゾーンを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定 VSAN ID に属するゾーンを表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>analysis</b>	(任意) ゾーン データベースの分析を表示します。
<b>active</b>	アクティブ ゾーン データベースの分析を表示します。
<b>vsan</b>	指定 VSAN のゾーン データベースの分析を表示します。
<b>zoneset zoneset-name</b>	指定したゾーン セットの分析を表示します。
<b>ess</b>	(任意) ESS 情報を表示します。
<b>member</b>	(任意) 指定したメンバーがその一部であるすべてのゾーンを表示します。
<b>fcalias alias-name</b>	特定の fcalias のメンバー情報を表示します。
<b>fc-id fc-id</b>	特定のファイバチャネル ID のメンバー情報を表示します。
<b>lun lun-id</b>	論理ユニット ID を表示します。
<b>pwwn wwn</b>	特定の pWWN のデバイス名情報を表示します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数です。
<b>name string</b>	指定したゾーンのメンバーを表示します。
<b>pending</b>	現行セッションの指定ゾーンのメンバーを表示します。
<b>pending-diff</b>	ゾーン データベースへの未決定変更を表示します。
<b>statistics</b>	ゾーン サーバ統計を表示します。
<b>status</b>	ゾーン サーバの現在のステータスを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、設定されているゾーンの情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone
```

次に、特定の VSAN のゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone vsan 1
```

次に、特定ゾーンのメンバーを表示する例を示します。

```
switch# show zone name Zone1
```

次に、Fibre Channel ID (FCID) を使用して、メンバーが属しているすべてのゾーンを表示する例を示します。

```
switch# show zone member pwn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
```

次に、他のスイッチと交換された制御フレーム数を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics
```

次に、設定されているゾーンのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show zone status
```

次に、**zoneset distribute vsan** コマンドのステータスを確認して、特定の VSAN またはすべてのアクティブな VSAN のデフォルトのゾーン属性を表示する例を示します。

```
switch# show zone status vsan 1
VSAN:1 default-zone:deny distribute:active only Interop:default
      mode:basic merge-control:allow session:none
      hard-zoning:enabled
Default zone:
      qos:low broadcast:disabled ronly:disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases:0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
```

表 9-3 に、**show zone status vsan** で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 9-3 show zone status のフィールドの説明

フィールド	説明
VSAN:	表示される VSAN の番号
default-zone:	デフォルトのゾーン ポリシーで、許可 (permit) または拒否 (deny)
Default zone:	指定した VSAN の属性を表示するデフォルトのゾーン フィールド。属性には、QoS (Quality of Service) レベル (qos)、ブロードキャストゾーン分割のイネーブル/ディセーブル (broadcast)、読み取り専用のゾーン分割のイネーブル/ディセーブル (ronly) が含まれます。
distribute:	フル ゾーン セット (full) またはアクティブ ゾーン セット (active only) の配信
Interop:	インターオペラビリティ モードの表示。100 = デフォルト、1 = 標準、2 および 3 = 他社ベンダー
mode:	基本 (basic) または拡張 (enhanced)、いずれかのゾーン分割モードの表示
merge control:	許可 (allow) または制限 (restrict)、いずれかの結合ポリシーの表示
Hard zoning is enabled	ハードウェア リソース (TCAM) が満杯になった場合、ハード ゾーン分割は自動的にディセーブルになります。
Full Zoning Database:	ゾーン データベースの値の表示

表 9-3 show zone status のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Active Zoning Database:	アクティブゾーンデータベースの値の表示
Status:	最終ゾーン配信のステータスの表示

# show zone analysis

ゾーン分割データベースについての詳細な分析および統計情報を表示するには、**show zone analysis** コマンドを使用します。

**show zone analysis** {**active vsan** *vsan-id* | **vsan** *vsan-id* | **zoneset name** *vsan* *vsan-id*}

## シンタックスの説明

<b>active</b>	アクティブゾーンセットの分析情報を表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	指定 VSAN ID の分析情報を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>zoneset name</b>	指定ゾーンセットのゾーンセット分析情報を表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、アクティブゾーン分割データベースの詳細な統計情報および分析を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis active vsan 1
```

次に、フルゾーン分割データベースの詳細な統計情報および分析を表示する例を示します。

```
switch# sh zone analysis vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
Full zoning database
  Last updated at: 14:36:56 UTC Oct 04 2005
  Last updated by: Local [CLI / SNMP / GS / CIM / INTERNAL] or
                  Merge [interface] or
                  Remote [Domain, IP-Address]
                  [Switch name]

  Num zonesets: 1
  Num zones: 1
  Num aliases: 0
  Num attribute groups: 0
  Formatted database size: < 1 Kb / 2000 kb ( < 1% usage)

Unassigned zones:
  zone name z1 vsan 1
```

フルゾーン分割データベースに対する **show zone analysis** コマンドの出力に表示される各フィールドについて、表 9-4 に説明を示します。

表 9-4 フルゾーン分割データベースの show zone analysis のフィールドの説明

フィールド	説明
Last updated at	フルゾーン分割データベースが最後に更新された時を示すタイムスタンプを表示します。
Last Updated by	フルゾーン分割データベースを直近で変更したエージェントを表示します。エージェントには次の3種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Local</b> : 次のいずれかのアプリケーションからの設定変更を通じて、フルデータベースが最後にローカルで変更されたことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>CLI</b> : フルゾーン分割データベースがユーザによってコマンドラインインターフェイスから変更されました。</li> <li>– <b>SNMP</b> : フルゾーン分割データベースがユーザによって Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) を通じて変更されました。</li> <li>– <b>GS</b> : フルゾーン分割データベースが Generic Services (GS) クライアントから変更されました。</li> <li>– <b>CIM</b> : フルゾーン分割データベースがアプリケーションによって Common Information Model (CIM) を使用して変更されました。</li> <li>– <b>INTERNAL</b> : フルゾーン分割データベースが、Inter-VSAN Routing (IVR) または IP ストレージ サービス マネージャから内部のアクティベーションによって変更されました。</li> </ul> </li> <li>• <b>Merge</b> : フルデータベースが結合プロトコルによって最後に変更されたことを示します。この場合、結合が発生したインターフェイスも表示されます。</li> <li>• <b>Remote</b> : フルゾーンセットの配信が可能である場合、フルデータベースが、リモートスイッチから開始された変更プロトコルによって最後に変更されたことを示します。変更を開始したスイッチのドメイン、IP アドレス、およびスイッチ名も表示されます。</li> </ul> <p>(注) スイッチ名が設定されている場合にだけ、スイッチ名は次の行に、ドメインと並んで表示されます。デフォルトのスイッチ名 <i>switch</i> および <i>ip-address</i> は表示されません。</p>
Num zonesets	データベース内の合計ゾーンセット数を表示します。
Num zones	未割り当てゾーンを含む、データベース内の合計ゾーン数を表示します。
Num aliases	未割り当て FC エイリアスを含む、データベース内の合計エイリアス数を表示します。
Num attribute groups	データベース内にある属性グループの合計数を表示します。このフィールドは、拡張ゾーン分割が使用されているときにだけ適用されます。

表 9-4 フル ゾーン分割データベースの show zone analysis のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Formatted database size	<p>フォーマット時にワイヤを通じて送信されたフル データベースの合計サイズを表示します。</p> <p>フォーマット化されたデータベース サイズは、&lt; X KB / Y KB のような形式を使用してキロバイト単位で表示されます。</p> <p>たとえば次のようになります。</p> <p>Formatted database size: &lt; 1 KB/2000 KB</p> <p>この例では、フォーマット化されたデータベース サイズは最大サイズ 2000 KB の内の 1 KB 未満です。</p>
Unassigned zones	<p>VSAN 内のすべての未割り当てゾーンを表示します。ゾーン名だけが表示されます。ゾーンのメンバーに関する詳細はこのセクションでは表示されません。</p>

次に、ゾーンセット分析情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis zoneset zsl vsan 1
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
zone compact database	VSAN 内のゾーン データベースを圧縮します。

# show zoneset

設定されているゾーンセットを表示するには、**show zoneset** コマンドを使用します。

```
show zoneset [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | name
zoneset-name [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | vsan
vsan-id] | pending [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
vsan vsan-id] | vsan vsan-id
```

## シンタックスの説明

<b>active</b>	(任意) アクティブゾーンセットだけを表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN を表示します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>brief</b>	(任意) 概略リスト内のゾーンセットメンバーを表示します。
<b>name</b> <i>zoneset-name</i>	(任意) 指定ゾーンセットのメンバーを表示します。
<b>pending</b>	(任意) セッション内のゾーンセットメンバーを表示します。

## コマンドのデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、設定されたゾーンセット情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 1
```

次に、特定の VSAN の設定済みゾーンセット情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 2-3
```